

4月～5月の支出

59,076円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代（月刊武松印刷代）	25,500円
交通費（駐車場、燃料代、高速代）	17,709円
通信費（携帯電話）	15,867円
支出計 04/4/3～04/5/31	59,076円

※今月から月毎の支出総額の表示にします。

市政を考える 月刊武松

発行日
04/5/31

第54号

10500部発行

頒布責任者：武松 忠
武松政策研究会

増え続ける扶助費!?

増加する生活保護、児童福祉！

■行革の成果は何に使われているか？

市が行政改革で、職員を10年で347人減らし、83億円節約した等は広報で、ご存知と思います。これだけ節約したのに、これらのお金は何に使われたのでしょうか？ 義務的経費の中で年々増加している扶助費について、説明します。

図1は、一般会計歳出予算のうち義務的経費の内訳の推移を示したものです。

扶助費：生活保護費、障害者支援費、保育所運営費
児童手当、医療費助成等

公債費：長期借入金の返済

■増える生活保護・児童福祉

図2は、扶助費(内訳)の推移を示したものです。

- ①老人福祉関係は、介護保険制度により漸減
- ②児童福祉関係は、8年間で、1.85倍に増加
- ③生活保護関係は、8年間で、1.5倍に増加

生活保護費の増加は、保護世帯、保護人数の増加と、高齢化により医療扶助費の増加が主な要因です。平成14年度の月平均の保護世帯は、約1000世帯（1400人）ですが、平成16年度見込みでは、約1200世帯（1600人）にもなります。

生活保護費は、保護世帯1件当たり約250万円にもなります。（市民1人当たり、1万5千円）

児童福祉関係の増加は、児童手当の所得制限緩和による需給世帯の増加や、小児医療費助成の開始、支給年齢の引き上げや、所得制限緩和による支給世帯の増加等が要因です。このように

行革の節約は、福祉に使われています。

■少子化対策か？校舎リニューアルか？

子育てには本当にお金がかかります。その一方で児童手当や小児医療費助成が増えると、投資的経費が減り、例えば小学校や中学校施設のリニューアルが遅れます。手当や助成がいいのか、施設改修等を充実した方がいいのか、天秤にかけなければならない状況です。

図1 一般会計歳出予算(義務的経費内訳)

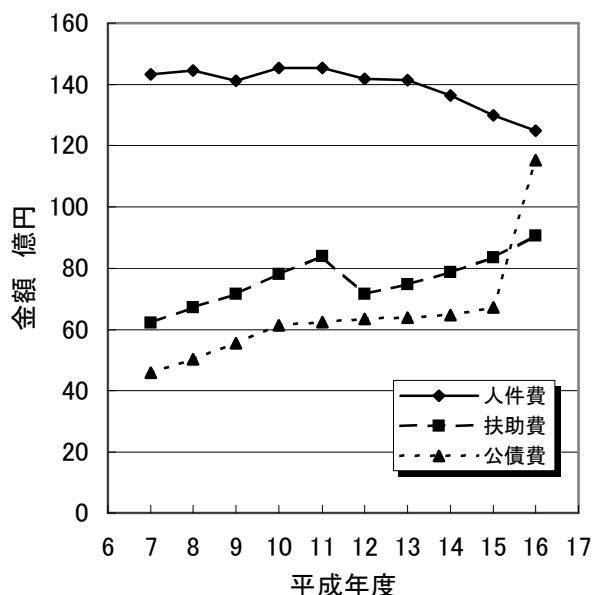
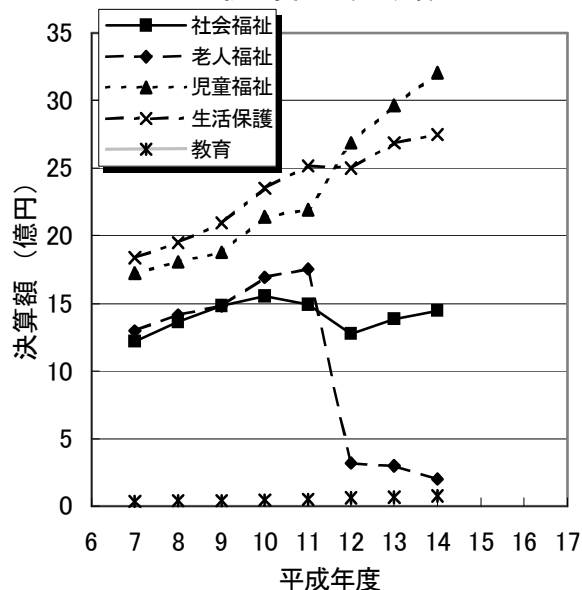


図2 扶助費の内訳(決算)



経済厚生常任委員長！

小田原市議会5月臨時会中の常任委員会で、所属する経済厚生常任委員会の委員長に任命されました。「若い世代がやってみろ。」との鶴の一声で決まりました。委員は議長経験者3人、前副議長と経験豊富な方ばかりです。円滑な議事運営に努めたいと思います。以下に本会議と常任委員会の説明をします。

本会議

本会議は、議場に全議員が集まって開かれる会議で、議会の意思（可決、否決など）は、すべてこの会議で決定されます。

常任委員会

常任委員会は、議案等を専門的、効率的に審査するため、設置されています。

議員はいずれか1つの常任委員会に所属します。

総務民生常任委員会

総合計画、国際交流、市税、市民相談、広報、地域づくり、情報公開、消防、防災対策等の分野

福祉文教常任委員会

高齢者・児童・心身障害児者福祉、介護保険、国民健康保険、集団検診、小中学校・幼稚園の運営、生涯学習・スポーツ、青少年健全育成、文化財保護図書館・公民館等の運営等の分野

経済厚生常任委員会

競輪、環境、商工農林畜水産業の振興、観光事業公設卸売市場の管理、市立病院の運営等の分野

都市建設常任委員会

都市計画、都市整備、都市景観、建築指導、道路河川建設補修、公園の建設管理、上下水道等の分野

The Voice 今までに頂いたご意見から

特別支援教育の通級教室についてもっと知りたい。 30代 女性

5月から酒匂小に、通級制の特別支援教室が開級しました。集団との関わりが苦手、社会性が身に付いていない子供たちの支援が必要なのは理解しているのですが、実際に他校から通級してくる子供たちが、各学級に入ってくるのか？、また設置の背景等がわかりません。

特別支援教室：障害のある子供を含む教育上配慮を要する子供に、行動の問題だけでなく、教科学習や対人関係の形成の状況、学校生活の適応状況など様々な観点から実態を捉え、指導方法や指導体制を工夫し指導する教室です。通常は各学校の学級に所属しながら、週1～2回通級し、個別学習と小グループによる学習を行います。

平成15年3月に文部科学省の審議会「特別支援教育の在り方に関する調査研究協力者会議」の最終答申が出されました。部分的に要約しますと、特殊学級の制度を、通常の学級に在籍し、必要な時間のみ「特別支援教室」で特別の指導を受けることを可能とする制度に一本化するための具体的な検討が必要。というものでした。

市では、昨年、酒匂小に**特別支援教育相談室**を設置し、相談、研修、指導を行ってきました。そして今年5月から、特殊学級を残したまま、**特別支援教室**を設置しました。この教室では、子供たちに個別の教育支援計画を作り、子供の状態に合わせ弾力的に通級指導します。ねらいは、①基本的な学習体制づくり ②コミュニケーション能力をつける ③社会性の能力を身に付けるというものです。

御質問の件ですが、市内全域から23名が通級予定ですが、酒匂小以外の子供が、酒匂小の普通学級に入ることはありません。

武松政策研究会 月例勉強会のお知らせ

日 時：6/19（土）18時～20時 場 所：市民会館5階 第2会議室

テーマ：「学習障害児について」

参加費：100円 終了後、実費で懇親会を行います。

7月の月刊武松の配布と勉強会は、
参議院議員選挙期間のため中止します。



ホームページでは、日刊武松（日記）や、月刊武松のバックナンバー、一般質問の会議録も見ることができます。**YAHOO!**で「武松忠」または、「たけまつただし」と入力すると検索できます。

URL <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/>

i-mode <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/i.htm>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 大井町支店出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

月刊武松は**本人が配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、**eメールでも送付していますので連絡下さい。**